ホームページのこと

小嶋祥三

2012 年 9 月に、このホームページを開設し、『今月の認知神経科学』は毎月、『発達障がいの論文を読む』はここのところ毎週更新してきた。今月、2020 年 11 月はこの両方をお休みした（『残照記』は続けるつもりだ）。理由は、この 2 つで異なる。

『今月の認知神経科学』を休んだ背景には、認知神経科学の衰退がある。衰退と言っても、多くの研究論文が発表されているので、これは正確な表現ではないかもしれない。ただ、脳全体の活動を同時にとらえるという、新しい脳の見方が提示され、それに関連した新しい技術、分析法が定着すると、次第に認知神経科学は勢いを減じていったようだ。Nature, Science といった雑誌に、この領域の論文が掲載されることがなくなって久しい。そのような状況で『脳と心：認知神経科学入門』を改定することは難しい。研究領域の興隆期の熱気が、外にも自分の中にも無いのだ。応用研究は今後も続くと思われるが、その広い範囲に興味を持ち続けることは難しい。そんなわけで、しばらく休んで、今後どうするか模索してみようと思った。

『発達障がいの論文を読む』は求めに応じて始めたが、以前、大型の科研費で、この領域の研究者に参加してもらったので、興味は持っていた。ある程度焦点を絞って読んでみたつもりだが、当然のことながら、多岐にわたってしまった。このあたりで立ち止まって振り返り、これまで読んだものをまとめることが必要だと思った。高齢者の脳は穴の開いたバケツのようなものだ。まとめないと、どんどん忘れてしまう。現在、まとめ中で来月よりそれを順次掲載する予定だ。